

## 宮崎市立江平小学校5年生が ブランド農産物を調べ学習しました！

宮崎市立江平小学校の5年生は、総合的な学習の時間を利用してみやざきブランド農産物について“調べ学習”に取り組んでいます。毎年、経済連職員が出前講座を行い、農業の面白さを伝えています。

11月6日に、AZMホールにて中間発表会が開催されました。経済連や県の担当者が発表を見学し、生徒にアドバイスしたり、質問に答えるなどして、ブランド農産物の理解醸成を図りました。

参加した生徒は「食べたことなかった農産物も食べてみたいと思った！」と笑顔で話してくれました。

様子はUMK「大地のチカラ」でも紹介されました。



放送回は  
こちら



## MIYAZAKI Delicious Market 2024 開催！

12月14日～15日にイオンモール宮崎にて、「MIYAZAKI Delicious Market 2024」を開催しました！今回も県産青果物や、旬の食材を使用した加工品の販売があり、約2万6千人の来場者で賑わいました。

セレモニーには、日隈敏郎宮崎県副知事やイオンモール(株)執行役員 岡田貴西日本支社長をはじめ、関連団体の代表者が登壇し、宮崎の旬の食材をPRしました。



## 栄養機能表示フィルムでの いちごの販売拡大！

11月25日にJAみやざき尾鈴地区本部のいちごの初競りが行われました。競りには、昨年度から取組を開始した栄養機能(ビタミンC)表示フィルムのいちごも並びました！

今年度産から、えびの市地区本部、都城地区本部の2地区本部もビタミンCの栄養機能表示フィルムでの販売が開始されます！

3月15日には、Aコープの一部店舗にて、栄養機能表示販売のフェアも開催されました。



## ホテルメトロポリタン川崎で 宮崎フェア開催！

神奈川県にあるホテルメトロポリタン川崎では、「宮崎フェア」を開催中！5回目となる今回は、「延岡編」と「都城編」に時期を分け、4月14日まで宮崎の旬の食材を提供いただいております！

会場入口には生産量日本一の県産スイートピーも展示いただきました。



## 全国から寄せられた生産者への 応援メッセージ公開中！

1月1日～2月15日の期間に実施された「宮崎県産の野菜・果物・花を買って生産者を応援しよう！キャンペーン」では、生産者への応援メッセージを募集しました。2,053件のメッセージを全国から頂戴しました。右の二次元バーコードから一部メッセージをご覧ください。



# みやざきブランド『かわら版』

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JAみやざき)

No.13  
2025年  
春号

産地づくり

人づくり

ファンづくり

ブランド戦略

物流体制づくり

取引づくり

商品づくり

## 令和6年度トピックス

### 1 心をつかむ「ファンづくり」

#### ◆「たまたま」と「日向夏」をPR!解禁イベント、宮崎ひなたフルーツフェア開催！

1月16日に完熟きんかん「たまたま」、3月1日に露地日向夏が解禁となりました。1月21日には、果振協きんかん部会が知事に解禁を報告するとともにPRをお願いしました。また、1月28日からは、「宮崎ひなたフルーツフェア2025」がスタートし、県内を始め、東京、大阪、福岡の108店舗の飲食店で、完熟きんかん「たまたま」と日向夏を使ったオリジナルメニューを提供しました。フェアスタートに先立ち、宮崎市内でメディア試食会を開催し、飲食店と生産者が一体となり、フェアのPRを行いました。ドリンク、スイーツやサラダなど多彩で個性的なメニューがあり、参加者からは「毎年楽しみにしている」など好評でした。



「宮崎だいすきポケモン」ナッシーとの完熟きんかん「たまたま」知事表敬



宮崎ひなたフルーツフェア2025メディア試食会



© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。

2月に宮崎駅前アミュ広場や新宿みやざき館KONNEで開催された「宮崎だいすきポケモン」ナッシーのイベントでは、コラボパックの完熟きんかん「たまたま」を最前列に陳列し、多くのお客様に手に取っていただきました。

大好評発売中！



#### 南那珂地域本部の取組



「きんかんヌーヴォー」を2年連続で開催しました！道の駅くしまにて、たまたま入りシャンパン「たまシャン」で乾杯し、完熟きんかん「たまたま」の解禁をお祝いしました！

## ◆1月21日は「スイートピーの日」♪スイートピーフェア開催！

1月14日～21日に、大手花き専門店「Hibiya-Kadan Style」および食品スーパー「小田急OX(オーエックス)」の東京都・神奈川県内の計14店舗にて、スイートピーフェアを開催しました！県育成のオリジナル品種を中心に、色とりどりのスイートピーを販売し、多くの来店者で賑わいました。

1月20日～21日には新宿みやざき館KONNEでも展示PRを行い、その美しさと香りに誘われて足を止めた来場者からは、「春が来たと感じられる大好きな花♪」「家に飾りたい」と嬉しい声をいただきました。



Hibiya-Kadan Styleでのフェア



小田急OXでのフェア

## 2 マーケットが求める「取引づくり」

### ◆バリューチェーンパートナーとの取組

#### 京都生協

京都生協(京都府内に18店舗展開)は、県産農産物を積極的に販売いただいております。毎年1～2月には、完熟きんかん「たまたま」の売場を常設し、試食宣伝販売などで魅力をアピールしていただいております。

今年も、販売チーフ会議にて、はまゆう地区本部の生産者自ら、きんかんの栽培方法や魅力を伝えていただきました。

店舗の売場では、従業員による手作りPOP等で、きんかんの魅力を発信していただきました！



店舗チーフ会議(京都)と産地を繋いだきんかん研修会



京都生協のきんかん売場

#### サミット(株)

サミット(株)(首都圏1都3県に124店舗を展開)は、青果物を中心に、県産農産物を幅広く販売いただいております。

12月に商品を取扱うバイヤーが県内産地を視察し、全店で「宮崎フェア」を開催しました。視察したピーマンなどの品目を中心に販売し、「グリーンザウルス」のPRもあり、多くの消費者に宮崎産の農産物を知っていただけました。



県産ピーマンの売場



売場調査(店舗担当者による説明)

## 3 将来の産地を担う「人づくり」

### ◆持続可能な産地づくりに向けて「ひなたチェック」に取り組みましょう！

- ひなたチェックとは、「食の安全」や「環境への配慮」など、よりよい農業生産をするために、産地(生産者)とみやざきブランド推進本部(県、市町村、JAみやざき)が一緒になって農業生産に関係する作業のチェック、改善をする取組です。
- 新たな商品ブランド認証制度では「ひなたチェック」が全産地共通の取組となります。



#### 産地(農業者)の役割

- 産地点検シートを読んで、必要な取組を**確認・実践**
- 1年に1回以上、産地点検シートで営農を**自己チェック**
- 問題が見つければ**改善**



#### ブランド推進本部の役割

- 農業者の取組を**第三者の視点でチェック**
- 農業者の**改善を支援**
- 産地全体の課題を明確にし、**改善を支援**



#### 県農業流通ブランド課 稲垣 裕介 主査

SDGsの機運が高まる中で、消費者の関心は「食の安全」に加え、新たに「気候変動への対策」や「労働者の権利の保護」などへの関心が急速に高まっています。これらに対応するため、生産者ひとりひとりが「ひなたチェック」に取り組んで、これからも「信頼される産地」であり続けましょう！

### ◆令和6年度宮崎県GAPシンポジウムを開催

「GAPを活用した持続可能な産地づくり」をテーマに、産地としてGAP団体認証に取り組むJAおおいたGAP研究会の事例発表、有識者による講演を実施し、34名(生産者、JA、市町村、県)の参加がありました。

#### 【講演のポイント】

- GAPは守備力(事故を起こさない)を鍛える取組
- 産地全体で取り組むことが重要。取り組みやすく継続できる体制づくりが大切



## 4 新しい価値観に対応した「商品づくり」

### ◆宮崎牛とジャーキートップブランドがコラボ！「テングビーフステーキジャーキー宮崎牛」発売！

ビーフジャーキーのトップブランド「テングブランド」で初めてとなる国産和牛を使った商品開発に「宮崎牛」が選ばれました。

トップブランドを展開する(株)鈴商と約1年間試作を重ね、令和6年10月に全国販売を開始しました。販売後すぐに増産となり好評です。

宮崎県内でもお買い求めいただけますので、ジャーキーの常識を覆すおいしさは是非お試しください！



商品パッケージ  
(左:秘伝醤油味、右:ゆず胡椒味)  
ゆず胡椒も宮崎県産を使用